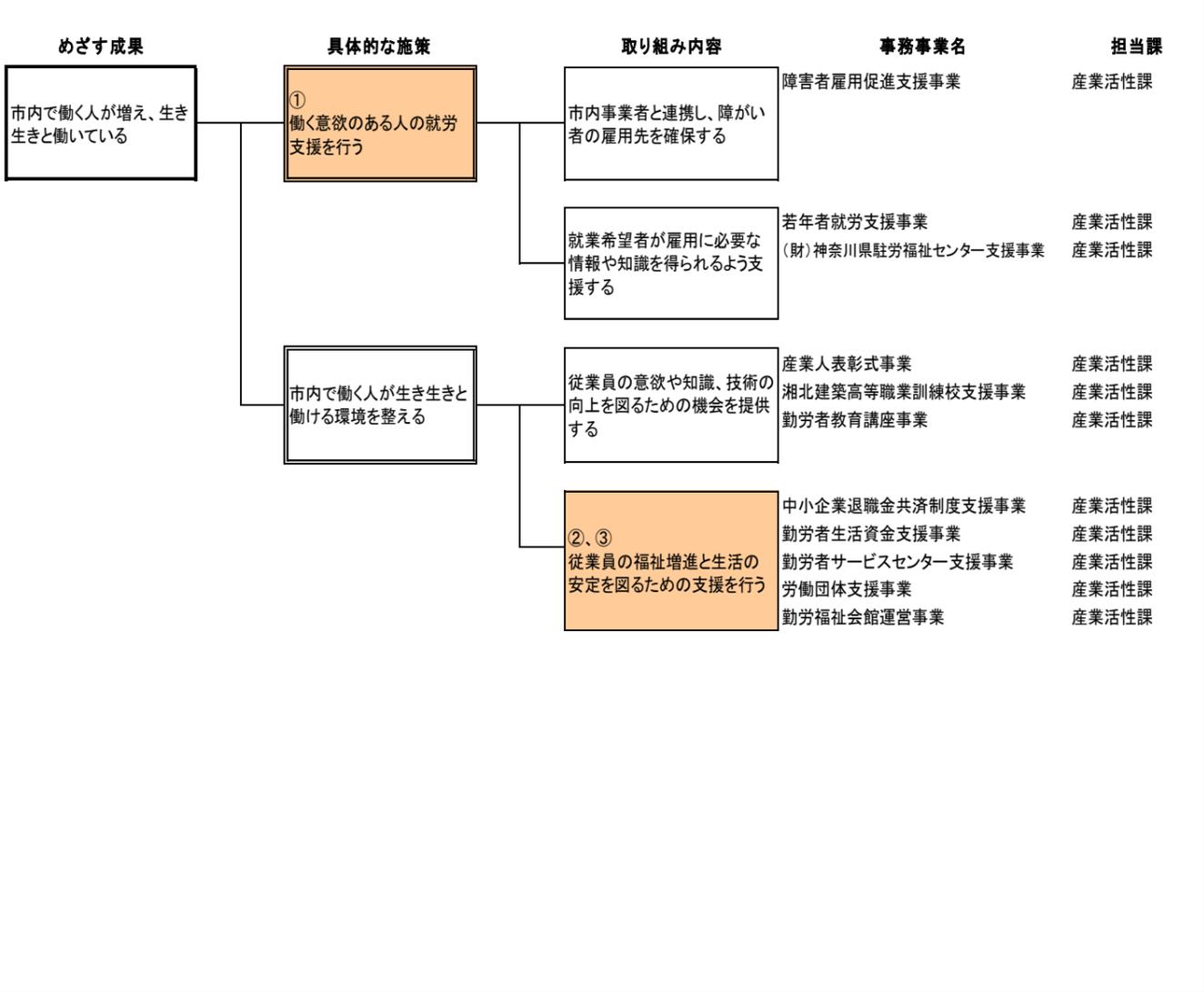


「めざす成果」の達成に向けた進行管理シート

<b>7-2-2 市内で働く人が増え、生き生きと働いている</b>		
総合計画体系	健康領域・基本目標	社会の健康・市民の活力があふれるまち
	個別目標	にぎわいのある地域をつくる
	めざす成果	市内で働く人が増え、生き生きと働いている 市内での求人が増え、働く意欲のある人に就業の機会が提供されています。また、市内の職場で働く人の就労環境が、安全で快適な状態に保たれています。

「めざす成果」を達成するための施策展開（ロジックツリー）



総合計画掲載指標①		総合計画掲載指標②		総合計画掲載指標③	
市内事業者従業者数		勤労者サービスセンターの加入者数		勤労者サービスセンターの加入事業所数	
計画策定時	81,414人	計画策定時	3,957人	計画策定時	890社
現状値		現状値		現状値	
実績値 (H21)	81,414人	実績値 (H21)	3,964人	実績値 (H21)	922社
中間目標値 (H23)	81,500人	中間目標値 (H23)	4,300人	中間目標値 (H23)	960社
目標値 (H25)	81,500人	目標値 (H25)	4,500人	目標値 (H25)	1,000社

「めざす成果」の達成に向けた進行管理シート

主な取り組み内容	<p>【働く意欲のある人の就労支援を行う】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>毎月1回ヤングキャリアカウンセリングを実施して、キャリアカウンセラーが仕事や就職に関する個別の相談に応じるとともに、必要に応じてハローワークなどの就職支援機関を紹介しました。</li> <li>毎年8月には体験型セミナーを開催して、パソコン研修のほか応募書類の書き方や模擬面接、IT関連企業の採用担当者との交流の場を設けるなど、就職に結びつくような事業実施に努めています。</li> </ul> <p>【市内で働く人が生き生きと働ける環境を整える】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>中小企業の勤労者に対し、福利厚生事業を提供する勤労者サービスセンターへの加入促進を図るために、加入促進員による未加入事業所への戸別訪問の実施や、広報やままと併せて戸別に加入チラシを配布するなどして、加入促進を図りました。</li> <li>大企業も加入できるよう、制度改正を行った(財)両毛地区勤労者福祉共済会（足利市と佐野市の2市で出資設立）への視察研修を実施し、意見交換を行いました。</li> </ul>
----------	--

構成事業に対する考え方（事業の量及び実施手法）	<ul style="list-style-type: none"> <li>NPO法人等に委託して、専門の相談員によるきめ細やかなキャリアカウンセリングの実施が必要です。</li> <li>厳しい雇用情勢を踏まえて、体験型セミナーでは、より就職に結びつくようなセミナー実施が必要です。</li> <li>市内で働く人が、生き生きと働ける環境を整えるためには、仕事だけでなく日々の生活や心にゆとりを持つことが必要なことから、事業主に代わって、中小企業の勤労者に対してリクレーションの斡旋や人間ドックの受検奨励など、各種福利厚生事業を提供する勤労者サービスセンターの加入促進を図ることなど、会員が求める魅力あるサービスを提供することが必要です。</li> </ul>
-------------------------	--

今後の展開方針		
新規事業の立案		（該当する事務事業）
既存事業の拡充	・体験型セミナーでは、IT関連だけでなく、より就職に結びつくような講習を進めていきます。	（該当する事務事業） 若年者就労支援事業
事業の廃止・縮減		（該当する事務事業）
事業の効率化		（該当する事務事業）
その他見直し	・勤労者サービスセンターの会員の増加を図り、経営体質を改善するため、会員の加入要件の見直しを進めます。	（該当する事務事業） 勤労者サービスセンター支援事業

施策への提言	
総合計画審議会記入欄	* 平成24年度の審議予定となっています。